

## 令和3年度第2回さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン懇談会 (令和2年度連携事業実施状況等(確定)、さっぽろ連携中枢都市圏 ビジョンの変更案に対する御意見等(まとめ))

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和3年度第2回さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン懇談会はメール会議形式にて実施しました。

いただいたご意見は、総論のほか、「連携中枢都市圏構想推進要綱」(総務省)に示されている役割に従い、「圏域全体の経済成長のけん引」(経済成長)関係、「高次の都市機能の集積・強化」(都市機能)関係、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」(生活関連機能サービス)関係のうち、最も関係が深いと思われるものに分類しています。

### 【総論関係】

- 会議や研修等を実施する連携事業で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりKPI達成不可とされている事業がある。その一方で、オンラインによりKPI達成となっている連携事業もある。新型コロナウイルス感染症拡大を理由に中止にするのではなく、実施できる方法を模索していただきたい。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえると、「人を集める」事業を計画する場合は、「集められない」、「集めにくい」場合を想定した上で計画していただきたい。今後も「密」を回避する状況は続くと考えており、「実施できる方法は何か」を常に念頭に置いていただきたい。

### 【経済成長関係】

- 連携事業「先端技術の活用に関する支援」の「IT利活用ビジネス拡大補助」は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施見送りとなったが、今まさしく必要とされている事業と考える。今後の積極的な実施を期待する。

### 【都市機能関係】

- 特になし

### 【生活関連機能サービス関係】

- 連携事業「特色ある教育活動の充実に向けた取組の推進」及び「にぎわいの創出」について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりKPIは未達となったものの、代替案

をもって実施しており、当初計画どおりではないにせよ、十分評価できる。

- 連携事業に追加される予定の「公立夜間中学の共同活用に向けた取組の推進」について、義務教育未修了の方々は札幌市のみならず道内にも多くいることから、本取組を「さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン」に組み込み、入学対象者を札幌市民に限定せず、近隣市町村、とくに連携市町村の在住者にも広げようとする取組は極めて意義深い。
- 次年度以降、「カーボンニュートラル」について検討いただきたい。「エネルギー問題」とは切り離せないと考えるため、この都市圏でどうしていくかなど、国や道庁のゼロカーボンの動きと合わせて、将来に向けて議論を進める必要があると考える。
- 次年度以降、「札幌一極集中の是正」の一例とし、札幌市職員が交代で各地に赴き、ワーケーションを実践いただきたい。札幌にいる人が、各地を知ることはとても大事である。札幌にいるだけでは何も分からない。ぜひ、札幌から各地に行って、見て、身をもって体感していただきたい。